

今年の桜はとてもきれいに咲いたようです。前年夏の気温が影響したようで、花芽の数が多く花びらがまとまって咲きそろい、あたり一面やさしいさくら色に染まりました。

これからは白つつじが咲き始め、白つつじマラソンや黒獅子まつりなどのイベントが盛りだくさんです。花の長井を楽しめる季節になりましたね。



## 長井市からのお知らせ

平成26年4月から消費税率が8%になりました。引上げによる景気の下振れリスクに対応するため、持続的な経済成長につなげるため、下記の2つの給付金を支給します。

(ただし、平成26年1月1日時点で住民票が長井市にある方が対象です。住民票が避難元にある方は、住所地の市町村に申請してください。)

### 臨時福祉給付金

6月の中ごろ、該当する世帯に長井市から申請書が送付されます。書類が届いてから申請してください。

- 支給対象者：平成26年度分の住民税が非課税の方
- 支給額：一人につき10,000円  
加給対象者は1人につき5,000円を加算  
《加給対象者》  
老齢年金、障害年金、遺族年金受給者  
児童扶養手当、特別障害者手当
- 申請先：長井市役所福祉生活あんしん課  
「臨時福祉給付金」窓口
- 申請期間：6月2日～9月30日

◎本人確認書類：住民基本台帳カード、運転免許証、指定口座が確認できる書類など

◎受け取れるのは、どちらか1つの給付金です。(臨時福祉給付金が優先。)

◎避難元に住民票がある方は、申請方法や申請期間など各市町村で異なります。事前に問い合わせるか、ホームページなどで確認してください。

### 子育て世帯臨時特例給付金

5月末に現況届提出の案内が送付されます。  
6月に現況届の提出と同時に申請することになります。

- 支給対象者：以下の①②両方の要件を満たす方が対象です。  
①平成26年1月分の児童手当・特別給付を受給している方  
②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方
- 対象児童：平成26年1月分の児童手当・特例給付の対象となる児童
- 支給額：対象児童一人につき10,000円
- 申請先：長井市役所子育て支援課  
「子育て世帯臨時特例給付金」窓口
- 申請期間：6月16日～9月30日



## 田植えに参加しませんか？

今年も福幸ファームで、「甦るの原料米さわのはな」の田植えを行ないます。地元の方々や地元支援者の方と交流しながら、田植えをしてみませんか。体験してみたい方、是非是非、ご参加ください！

日時：5月24日(土) 9時30分～12時  
(午前中で終わります。)

集合場所：中央地区公民館(交流センターふらり)  
長井市屋城町6-53

申込締切：5月20日(火)まで

申込・お問合せ レインボープラン市民農場  
☎ 090-3645-6745 (担当：村田)



去年の様子

## 福幸ファームからのお知らせ

純米吟醸「甞る」（鈴木酒造店長居蔵）の原料米として昨年、一昨年と福島から避難してきた方々、社会福祉協議会をはじめ多くの支援者のみなさんの協力を得て栽培してきた「さわのはな」。その田植えが今年も福幸ファームの田んぼで行われます。

避難者同士の交流、避難者と地元の方々との交流の場としての田んぼから震災&原発事故からの復興の願いを届けようと企画されたこの酒米作りは、純米吟醸「甞る」の全国販売を契機にBSTVで特集が組まれるなど各メディアから大きく取り上げていただきました。（TVの内容は「NPO法人レインボープラン市民農場のブログ」をご覧ください。）

<http://rainbowsfarm.cocolog-nifty.com/blog/2014/03/2014-481f.html>

また全国社会福祉協議会の情報誌「ボランティア情報」におきましても2014年1月1日号の表紙でこの取り組みが紹介されました。

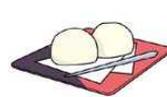
<http://rainbowsfarm.cocolog-nifty.com/blog/2014/01/11-e82f.html>

さらにこのお酒の酒粕を利用して「吟醸酒まんじゅう『甞る』 絆循環粕酵乳菓子『花は咲く』」（萬寿屋本舗）、「酒粕焼きドーナツ『ほの菓』 アイスクリーム『甞るジェラート』（ブランドオレ）、「甞るフランク」（草岡ハム加工組合）、「サイコロバーグ」（丸川精肉店）など商品開発も行われています。

この取り組みは、純米吟醸「甞る」をはじめこれら商品の売り上げの一部が福島の子供たちの保養活動に取り組む「葉っぱ塾」などに届けられることから、栽培に参加しても、おいしく食べても復興に寄与するものとなっております。

震災の記憶や現在も継続する原発事故の深刻な状況への関心が薄まるなか、このような形で絆の輪が大きく広がっていることを大変嬉しく感じると同時に末永くこの活動が継続されること、また一人でも多くの方に「甞る」及び関連商品を味わっていただくことを願ってやみません。

—村田 孝—



## 5月のイベント情報



### ◎白つつじまつり

5/10(土)～5/31(土)まで

\* 5/10(土):開園式 午前10時～

「花苗」と「お花見だんご」のプレゼントがありました。(先着100名)

○来年、ご期待ください。

### ◎第36回 全国白つつじマラソン大会

5/18(日) 午前10時スタート

(2Km・5Km・10Km/ファミリーの部)

受付/午前8時～

場所/長井市民文化会館

開会式/午前8時50分～

### ◎第25回 ながい黒獅子まつり

前夜祭 5/23(金) 午後6時～午後8時

白つつじ公園多目的広場

本祭り 5/24(土) 午後5時30分スタート  
(屋まつり) 午後0時30分スタート

ところ/

長井市内目抜き通り・白つつじ公園多目的広場

\* 祭り期間中の詳しい日程は、5/1の市報と一緒に配布になった、別紙チラシをご覧ください。

## 長井市の観光スポット



### 総 宮 神 社

長井市横町（あやめ公園高台の東側）にあり、長い歴史があります。

長井は原始時代から洪水が多く、洪水を治めてくれる「水神」を厚く信じていました。高台に祠を建て、水神をまつったのが宮の神社の始まりです。「赤崩山白鳥大明神」と呼ばれ村の鎮守様として崇拝されていました。

伝説として...延暦21年（約1200年前）、坂上田村麻呂が蝦夷征伐の時、宮村の鎮守に立ち寄り、人々が洪水に苦しんでいるのを哀れんで、「赤崩山白鳥大明神」と名づけ、洪水が治まることを願いました。

1593年（約420年前）、領主の蒲生飛騨守が神社仏閣が肥沃な平地を占拠し、収穫の不足するのを嘆いて、下長井50余カ村の神社を宮明神に合祀し、神社跡地を農地にして収穫の増を狙い、名称を「総宮神社」と改めました。12の神社は合祀に同意しましたが、各村民の抵抗が激しく他の神社の合祀は行われませんでした。その名残として、総宮神社を囲むように12の小さな神社が建てられています。ご本尊様は元の神社に戻られ、空の神社になっています。

本殿の話、直江兼続との関り、宝物殿の話などは来月号に続きます。

## あとがき

山の中腹あたりは、木の芽も芽吹き始め新緑が少しずつ見えてきました。外に出るにもいい季節になりましたね。